

(様式2)

令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和4年1月18日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者 (申請者)

所 属 芸術地域デザイン学部

職 名 教授

氏 名 山口夕妃子

下記のとおり令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業の実施結果について報告します。

1.国際研究集会名	The 2nd International conferenc 2022 Brand strategy in Ceramic industry		
2.事業責任者 (申請者)	山口夕妃子	3.所属・職名	芸術地域デザイン学部 教授
4.開催期間	令和4年12月17日～令和4年12月17日		
5.申請区分	A) 学術交流協定 (大学名) B) 共同研究 C) 一般		
6.参加者数 ※参加者名簿 (別添) を添付	参加者数 <u>約 107 名</u> 内、 <u>外国人数 91 名</u> 、 <u>研究者数 21 名</u> 、 <u>学部学生数 72 名</u> 、 <u>修士以上学生数 9 名</u> <u>その他・企業 5 名</u>		
7.招待講師	所 属 <u>School of Business, Ewha Womans University</u> 職 名 <u>Professor, 19th President of Korean Marketing Management Association</u> 氏 名 <u>Jeong Eun Park</u> 所 属 <u>Nanjing Institute of Technology</u> 職 名 <u>Associate Professor</u> 氏 名 <u>Binru XU</u> 所 属 <u>Chuo University</u> 職 名 <u>Professor Emeritus, Former President/current Vice President, Japan Association for Consumer Studies. Former President, Japan Marketing Academy</u> 氏 名 <u>Hiroshi Tanaka</u>		
8.支出額	金 額 <u>200,000</u> 円 【内訳】		

	謝金	60,000	円
	旅費	0	円
	消耗品費	140,000	円

9.国際研究集会の内容

本研究集会は日中韓のマーケティング研究者によって行われるシンポジウムである。テーマは「Brand strategy in Ceramic industry」と題して行われた。日本の研究機関としては本学以外では、東京大学、富山大学、長崎県立大学、九州産業大学から学部生、院生、研究者と幅広く申し込みがあり、企業からも5社あった。韓国からはEwha Womans Universityの院生・研究者からの申し込みと企業から3社、中国からは景德镇陶瓷大学、南京工程学院、西南财经大学、上海师范大学、河南财经政法大学财政税务学院、内蒙古科技大学外国语学院など多くの大学から学部学生、院生、研究者が参加し、企業からは3社参加して頂いた。当日中国からのアクセスにおいて通信が不安定で途中から、あるいは電波状態が悪く参加できなかった方もいたが、100名程度の参加者が確認できた。

日中韓においてそれぞれの消費者行動の特徴があることは言うまでもなく知られているが、文化的商品と位置付けらる「陶磁器」がどのように意識されているのか、また陶磁器産業におけるブランディング戦略について理論上で言われているところのブランドロイヤルティ構築において国ごとにどのような戦略上の課題や消費者関与がなされているのかを日中韓のマーケティング研究者がそれぞれの立場から議論を行うことができた。

10.事業実施による成果・今後の事業の発展等

肥前やきもの圏の企業方にもご参加いただき、質疑応答を実施することができた。ブランディングをどのように行っていくのかは多くの企業の関心の高いテーマであることが確認できた。

この事業で行った報告は国内外の学会で報告を行う予定である。ここで頂いた意見をもとにブラッシュアップしていきたい。また産官学のそれぞれの立場の方が参加したシンポジウムの開催を国際的にできたことは意義深いことであると思う。国内参加よりも中国からの参加が多く、国際的にも関心の高いテーマであることも確認できた。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。